



アライグマ等による被害が急増！

アライグマは、アニメの影響や外見の愛らしさから、ペットとして広く飼育されましたが、飼いきれずに捨てられたり、逃げ出した個体が野外で繁殖し、急速に個体数、生息域が拡大しています。

農作物の被害を防ぐためには、農地や集落環境をアライグマの餌場にしないようにすることが必要です。生ゴミを畑に不用意に捨てたり、廃棄する作物を畑に野積みして放置したり、カキやミカン、ピワなどの果物をなりっぱなしにすることのないように、集落全体で監視を強めましょう。

繁殖力が強いアライグマは、個体数を減らすように積極的に捕獲する必要があります。千葉県では、外来生物法に基づいて「千葉県アライグマ防除実施計画」を策定し、その防除について市と役割分担を決め、最終的に野外から完全排除を目指して取り組んでいます。

イノシシによる被害も急増！

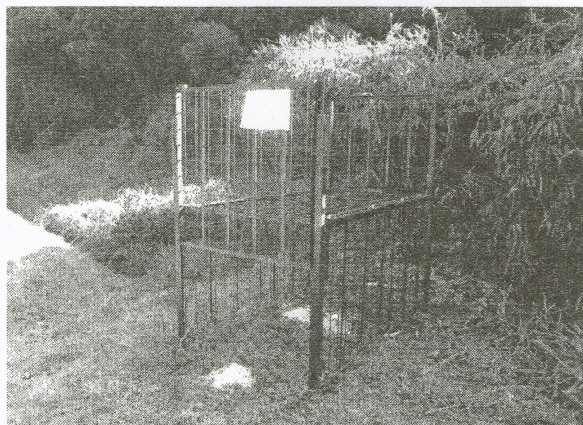
イノシシを目撃したら、近づかず、興奮させないように静かにイノシシから見えない場所に避難しましょう。

草むら、やぶ等のイノシシの隠れ家の存在や、生ゴミの放置、放任果樹などによる餌付け行為は、イノシシ出没の原因となりますので、集落での環境管理にもご協力をお願いします。

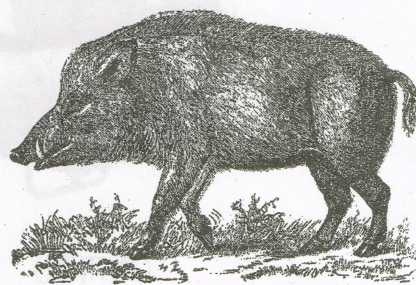
また、犬の散歩をするときは、犬と飼い主を敵と判断し、攻撃してくる可能性がありますので、十分に注意してください。

市では、農地の掘り起こし等の被害が急増していることから、生態系の調査や遠隔監視による捕獲を実施し、体制の強化を図ってまいります。

なお、箱わなによる捕獲は、幼少期のイノシシ（ウリ坊）が群れで捕獲されることもあり、繁殖を抑（おさ）える上でも有効な捕獲方法と考えております。



【イノシシ用箱わな】



イノシシやアライグマ等による被害がありましたら農政課へご連絡ください！

農政課直通電話 20-1526